



こぐれ ひろし
小暮 博志 議員
(政友みらい)



安全で住みやすいまちを目指して

Q 長期断水が発生した場合、どのような対応を考えているのか伺いたい。

A 上下水道局長

佐野市地域防災計画及び佐野市水道施設緊急時対応マニュアルに基づき、給水車、給水タンク、災害用浄水器、移動式大型自家発電機及び非常用飲料水袋などを保有しています。また、多くの浄水場、配水場、管路等が機能を果たすことができなくなるほどの被害を受け、本市だけでは十分な給水を行うことができなくなった場合は、応援協定に基づき近隣市や日本水道協会栃木県支部等を通じて供給体制を確保します。

その他の質問

☆新型コロナウイルスワクチン接種の今後



しんかうじ ひでき
神宮次 秀樹 議員
(政友みらい)



放置林について

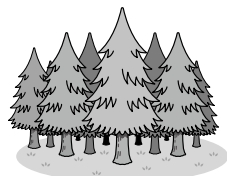
Q 最近、放置林という言葉が新聞等で見かけるようになり、先日の下野新聞でも、本県の人工林の約7割が利用期を迎える中、林業従事者が減少し、放置林の増加が懸念されるとコメントが載っていた。放置林とは、管理されない、されていない人工林をいうようだが、本市における放置林と思われる割合、面積について伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

県が整備している森林簿において、市内の民有の人工林面積は1万2,537ヘクタールで、そのうち過去20年間に間伐等の施業履歴が記載されていない森林は6,751ヘクタールです。この面積が放置林の面積に相当するものと推定されます。また、この面積より放置林の割合については、おおよそ半分になると考えられます。

その他の質問

☆救急活動について
☆道徳教育について



さわだ ひろゆき
澤田 裕之 議員
(大樹会)



消防体制について

Q 災害対応におけるドローンの活用については、大規模水害において、その有効性が確認されている。災害用ドローンを用いて、災害対応を行うためには、ドローン運用者の育成が大変重要だが、災害用ドローンの運用者の育成について伺いたい。

A 消防長

災害用ドローン運用者の育成については、2等無人航空機操縦士の技能証明を取得させ、災害現場で運航する前に災害を想定した運航訓練を10時間以上実施しています。また、操縦技能の維持向上を目的として、定期操縦訓練を毎月1時間以上実施しています。今後、災害用ドローンの追加配備に伴い、新たに消防職員6人の運用者を育成し、災害用ドローン2機による24時間運航可能な体制を構築していきます。

その他の質問

☆今後の農業について
☆地域未来投資促進法に基づく重点促進区域について

